

楠公さん学び卓球のまちめざす

島本町の中学校 前女子代表監督が講演

楠木正成ゆかりの大阪と指導を受けた。合わせて本市立四條畷西、河内長野市人。

立長野、富田林市立喜志、村上氏による生徒らに対する技術指導に続き、藤崎野北、同北神戸の各中学校記者が正成の生き方を詳しく生徒と卒業生のほか、地元小中学生や住民約2000人に話を聞いた。村上氏によると、自分がミッシェンを与えることが大事で、失敗したときこそがんばろう。自分で考え、行動する選手になってほしい」と訴えた。

卓球部員らが28日、「卓球」取材班・藤崎真生記者が社会科解説として講演した。

第一中学校体育館に集ま

り、前卓球女子日本代表の監督・村上恭和氏の講演と

え、千早赤阪村立、四條畷



卓球部員らにエールを送る村上恭和氏
＝島本町立第一中学校

だ正成の忠義を、団体戦などみんなで戦う試合で皆さんも思い出してほしい」と呼びかけた。

その後村上氏が講演。病氣やケガ、トラブルなど多くの苦難を越えて監督としてロンドン、リオ両五輪で卓球女子団体をメダルに導いた自らの生き方を話し、

「自分がミッシェンを与えることが大事で、失敗したときこそがんばろう。自分で考え、行動する選手になってほしい」と訴えた。